

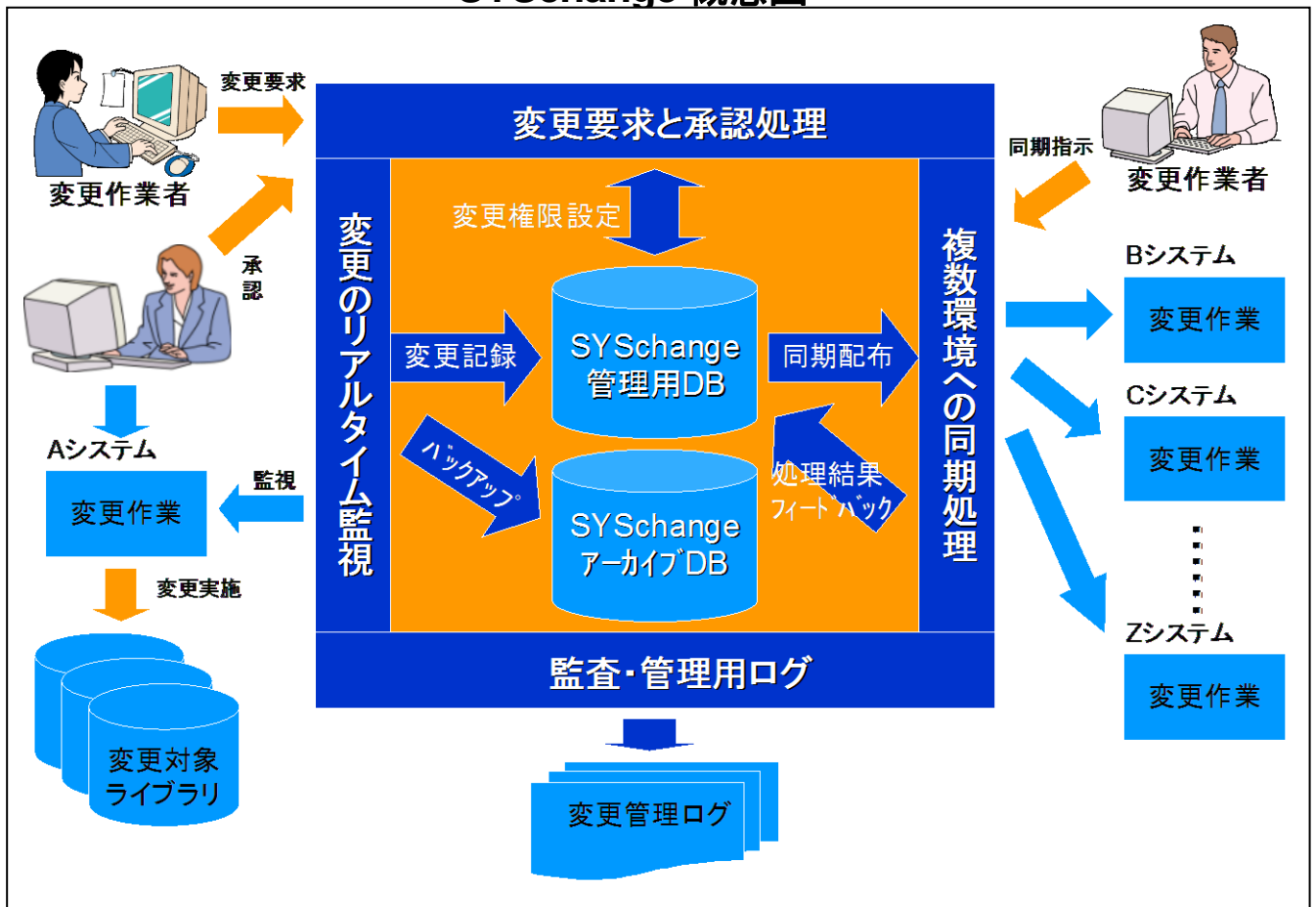


# SYSchange<sup>®</sup> z/OS 唯一の変更管理ソリューション

z/OSシステムの信頼性を高め障害時にも停止しない堅牢なシステムを構築することは、運用管理を担当する人達にとって極めて関心が高い事柄です。汎用機はUNIX、Windowsなどのシステムと異なり、元々システムの信頼性が高いため、ともすれば「動いて当たり前」に思われがちです。しかし、システムを安定的にトラブルなく稼働させるには不断の努力の結果達成できるものであり、管理無くして実現することは不可能です。一方、管理すべき対象は数多く存在します。本番システム、開発システム、テストシステムからバックアップサイトのシステムまであり、これらのシステムを同一レベルに維持管理することは、並大抵の努力ではありません。開発システムやバックアップシステムなどは、最終的には本番システムで稼働させるためのプログラム開発や環境準備のためのシステムであり、これらを本番システムと同一レベルに維持しなければ意味がありません。

SYSchange<sup>®</sup>は、このような数多くのシステムを統一的に管理できるばかりでなく、全ての管理対象システムを同一レベルに維持します。運用管理者は管理対象を登録し、パッケージ化を指示するだけで良いのです。

## SYSchange 概念図



2008年3月期から適用が予定されている日本版SOX法。この中で、企業は情報システムに関する内部統制を実施しなければならず、システム自身が健全かつ有効に運用されているかを監視・統制し、それを証明しなければなりません。この情報システムを稼働させているインフラがz/OSであり、全ての情報システムはz/OSの制御下で機能しています。従って、情報システムの健全はz/OSの健全の上に成立するものであり、z/OSに対する監視・統制及び証明が必要なことは言うまでもありません。

SYSchange<sup>®</sup>は、日本版SOX法への対応として、誰が、いつ、何を、何のために変更したかのログ情報を自動的に記録すると共に変更前の内容を自動的にバックアップします。しかも、そのログをいつでも取り出して監査証明に役立てることができます。更に、計画した変更が実際に実施されたのかについて、フィードバック情報をSYSchange<sup>®</sup>の管理データベースに保持します。これにより運用管理者は管理対象の全てのシステムについて、どのような状況かを即座に答えることが可能になります。

## **SYSchange®のソリューション例**

SYSchange®は、z/OS を運用管理するために以下の分野に適用することができます。

### 【SOX 法を始めとするコンプライアンス要求への対応】

SYSchange®は、企業のコンプライアンスのために、z/OS システムの内部統制を確認することができます。又、z/OSシステムの変更に関して、管理及び報告機能を集中化できます。更に、どのようなシステム変更も自動的にバックアップし、監査証跡を文書化できます。

### 【セキュリティと信頼性のレベルを向上】

SYSchange®は、運用管理者がz/OSシステム変更のためのセキュリティ機能やエラー発生時の迅速な回復について責任を持つことができるようにするため、変更に対する自動バックアップ機能のほか、ボリューム、データセット及びメンバ単位での3重の保護機能を提供します。更に、誰が変更できるかを特定させることもできます。

### 【災害対策能力の改善】

SYSchange®は、災害対策用システムと本番システムを最新の状態に同期させて保持するために、いくつかの機能を備えています。SYSchange®は、自動的に変更を検出しパッケージ化する技術により、災害対策サイトに迅速に伝達することができます。又、変更を許可された人だけが重要なシステムコンポーネントを作成することができ、自動的にバックアップを記録します。

### 【システムソフトウェア変更管理の集中化】

SYSchange®は、複数 LPAR 管理のために集中化方式を提供します。この機能により複数の SMP/E システムを維持管理するための冗長性と複雑性を取り除きます。単一の視点から複数の SMP/E 環境の変更をパッケージ化し、対象先に伝達します。更に、変更対象の状況を集中化して参照できるようにするために、フィードバックの仕組みを提供します。

### 【システムライブラリの管理】

SYSchange®は、システムソフトウェア変更と迅速な回復に対応するため、エラーからの迅速な回復に利用できるバックアップ、管理ニーズからバックアップの世代と保存期間を選択できます。又、誰が、何を、何処で変更したかを即座に認識できるだけでなく、システムに対して全く変更していなかった確認と証明に適用することもできます。

株式会社ブロードは Pristine Software 社の日本国内における総販売元です。

総販売元:

**株式会社ブロード**

東京: 〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-30

TEL.03-6205-7463 FAX.03-6205-7465

大阪: 〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-4-14 ショーレイビル 6F

TEL.06-6375-3775 FAX.06-6375-3814

E-Mail:broad@broad-corp.co.jp URL:http://www.broad-corp.co.jp

お問合せ:

**BROAD**

2006.10

※本紙中の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。※掲載の製品仕様は平成 18 年 9 月末現在のものです、改良などのため予告なく変更することがあります。Copyright©2006 BROAD Corp.All Rights Reserved.